

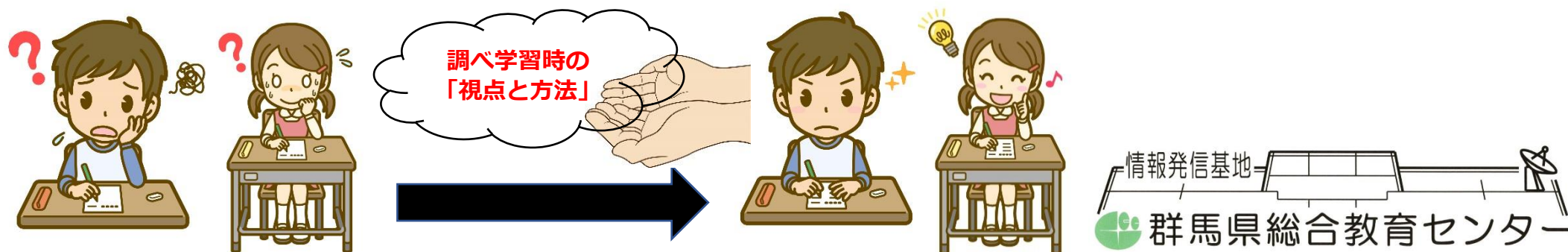
教材研究シート

『MKH シート』の取扱い説明書

～「社会的な見方・考え方」を働かせ意欲的に学びに向かう児童へ～

- 内容項目**
- P1 「社会的な見方・考え方」とは
『MKH シート』で扱う「社会的な見方」と「社会的な考え方」
 - P2 『MKH シート』の取扱い説明と新規作成の手順
 - P3 作成に当たっての注意点等
 - P4 「見方」の見取り例と一般的な発問例

【児童の変容イメージ図】



「社会的な見方・考え方」とは

【小学校学習指導要領社会編（平成 29 年 3 月公示）の（1）改訂の趣旨の文言より】

「社会的な見方・考え方」は、①課題を追究したり解決したりする活動において、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の②視点や方法であると考えられる。

捉え

①課題を追究したり解決したりする活動において、・・・問題解決型学習の「追究の過程」

②視点や方法・・・ツール（道具）

→目指す児童の姿：問題解決型学習の追究の過程で「社会的な見方・考え方」をツールとして自然に扱うことができる姿

『MKH シート』で扱う「社会的な見方」と「社会的な考え方」

【社会的な見方】を三つに整理

『**地理的な見方**』 → 「位置」・「空間的な広がり」（分布、地域、範囲等）

『**歴史的な見方**』 → 「時期」・「時間の経過」（起源、変化、継承等）

『**公民的な見方**』 → 「事象の相互関係」・「人々の相互関係」（工夫、関わり、協力等）

【社会的な考え方】を四つに整理

『**比較**』、『**分類・整理**』、『**関連付け**』、『**総合化**』
キーワード（考え方の出発点） （相違点） （共通点） （まとめ）

※本来「社会的な見方・考え方」は密接に関連しているものですが、MKH シートでは教材研究に使いやすいようにあえて「見方」と「考え方」を分けてあります。

【MKH（**見方・考え方を働かせる**）シートの取扱い説明】

1.使用目的

児童に「社会的な見方・考え方」を意識して働かせるために、教師自身が授業の中で使う「社会的な見方・考え方」を明確にする

2.使用場面

教材研究で単元構想するとき

3.使用方法

①既存の作成例を**そのまま使う**、②児童の実態や自分の指導方針に合わせて**変更して使用**する

4.使用の効果

1 単位授業の核となる手立て「**発問**」と「**教材（資料）**」の**使い方が導き出せる**



もとにして

1 単位授業の中で児童に見方・考え方を意識させる、更なる手立てを考える！

3.使用方法の②児童の実態や自分の指導方針に合わせて**変更して使用**する場合

《新規作成の手順》

1. まずは**単元名**と児童と共に考えることを想定した**単元の課題**を書きます。
2. 作業の順序ですが、決まったやり方はありません。下のⅠ～Ⅳと番号順にやることを基本としますが、それにとらわれなくても大丈夫です。
 - Ⅰ. 中心的な『**見方**』をリストから選びます。（※見取り例を参考にします。）
 - Ⅱ. 「**発問**」を考えます。授業に直結するのでよく考え文章で書きましょう。（※発問例を参考にします。）
 - Ⅲ. 「**教材（資料）**」を発問と関連付けて選びます。
 - Ⅳ. 『**考え方**』をリストから選びます。**重要**：資料活用でねらう内容を書き、実際の活動（思考）をリストから選びます。
3. 活動内容と時間数の確認をして、「つかむ過程」・「追究の過程」・「まとめる過程」の時間数をリストから選びます。
4. 最後に 1 単位時間の授業展開のどこに「2」で考えた学習活動を組み入れるのかを確認しましょう。

〈作成に当たっての注意点等〉

①めあてとまとめの整合性について

上から順に、「見方」→「発問」→「教材（資料）」→「考え方」を上書きしていくことをおすすめしますが、整合性が合えばどこから上書きしてもかまいません。

②「見方」・「考え方」のリスト選択について

1 単位時間のめあてに沿って中心となるものを、一つに絞ることが難しいときもあります。そのときは複数を選択してもかまいません。

※この選択は教師目線で中心とする「見方」・「考え方」なので、児童が違った見方・考え方を選ぶことも考えられます。根拠が明確であれば承認してください。

③「公民的な見方」の理解について

小学校段階では、事象・人々の相互関係である「工夫」、「関わり」、「協力」等の視点を「調べる目的（追究のゴール）」と勘違いしやすくなっています。しかし、この「工夫」、「関わり」、「協力」等の“視点”は、調べる目的でなく**児童が追究するとき（調べ学習の途中段階）に使うツール（道具）**とお考えください。

【小学校】
「よりよい社会の構築に向けて」を調べる目的（追究のゴール）として、
追究時の視点として使用

系統性
を意識

『中学校指導要領（社会編）より』 ※目的（追究のゴール）の記載あり
・ よりよい社会の構築に向けて

『高等学校指導要領（公民編）より』 ※目的（追究のゴール）の記載あり
・ 「公共」では、よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて
・ 「倫理」では、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて
・ 「政治・経済」では、よりよい社会の構築に向けて

④「考え方」の捉えについて

社会的事象を考える際によく使うものが「比較」の考え方です。「比較」を出発点として、共通点が見いだせれば「関連付け」の考え方を使い、相違点が見いだせれば「分類・整理」の考え方を使います。ですから、「比較」の考え方は追究活動の際、多く出てきます。「比較」でも、「資料の内容」「資料から読み取った情報と文章」・「資料から読み取った情報と既習事項」等、たくさんあります。教師は何と何を比較させるのか、**比較の対象を明確に**しておきましょう。

「総合化」の言葉の捉えですが、**一つ一つの知識をまとめて概念等に関する知識に近付けていく考え方**と捉えてください。主に「単元のまとめ」のときに使います。

〈「めあて」の言葉等に注目した「見方」の見取り例～「東京書籍」5年生の内容から～〉

※○の番号は見取りが難しい例

〔地理的な見方〕

1. 日本の領土の範囲は、どのようになっているのかな？（範囲）
2. わたしたちの生活や産業を支える自動車は、どのような地域でつくられているのかな？（地域）
- ③. 工場で作られた工業製品は、どのように運ばれているのかな？（分布・範囲）

【※公民的な見方の（つながりやしきみ）と捉えることもできる】

〔歴史的な見方〕

1. 孺恋村の人々は、どのようにして今のような土地にしてきたのかな？（背景・経緯）
2. 食生活の変化は、食料生産にどのような影響を与えているのかな？（変化）
- ③. 公害が広がったころ、京都市では、鴨川をきれいにするために、どのような取組が行われたのかな？（歴史的背景）

【※公民的な見方の（対策）との関わりも深い】

〔公民的な見方〕

1. 輪中に住む人々は、水害から生活をどのように守ってきたのかな？（工夫・努力）
2. 庄内平野の米は、どのように消費者に届けられるのかな？（つながり・しきみ）
- ③. 北陸地方の工場では、昔から伝わる技術をどのように工業生産に生かしているのかな？（工夫）

【※歴史的な見方の（継承）との関わりも深い】

☆「特色」という言葉は、言葉のみでは判断できないので、学習内容と資料から判断する。

- 日本のつゆや台風、季節風にはどのような特色があるのかな？→学習内容や資料から〔地理的な見方〕
- 雪国の人々の暮らしには、どのような特色があるのかな？→学習内容や資料から〔地理的な見方・公民的な見方〕
- 日本で工業がさかんな地域には、どのような特色があるのかな？→学習内容や資料から〔地理的な見方〕
- 日本の輸入にはどのような特色があるのかな？→学習内容や資料から〔地理的な見方〕

「資料」から

- 地図・雨温図・・・基本は地理的な見方
- 折れ線グラフ・棒グラフ・帯グラフ等変化が分かる資料・・・歴史的な見方
- 関係図・説明図・・・基本は公民的な見方

※写真資料が複数ある場合→比較・分類・関連付け等で何の見方ができるか考える

難しいけど、まずは指導者が理解してくださいね。



〈一般的な発問例〉

※（ ）の中が視点

【①地理的な見方－位置・空間的な広がり－】

（地形）→土地の高さに注目すると、この地域の地形の特徴はなんだろうか？

（分布）→どのように広がっているのだろうか？

（構成）→なぜ、この場所に集まっているのだろうか？

（自然条件）→地域ごとの気候は、どのような自然条件によって異なるだろうか？

（方位）→東小から見て、町役場はどの方角にあるだろうか？

【②歴史的な見方－時期・時間の経過－】

（起源）→いつ、どのような理由で始まったのだろうか？

（変化）→どのように変わってきたのだろうか？

（発展）→更に、自動車産業が発展するためには何が必要だろうか？

（継承）→この伝統文化を受け継いでいくために、障害になっていることは何だろうか？

（時代）→鉄砲が伝わった南蛮文化は、何時代の文化だろうか？

【③公民的な見方－事象・人々の相互関係－】

（工夫・努力）→どのような工夫や努力があるのだろうか？

（つながり）→どのようなつながりがあるのだろうか？

（協力）→なぜ、○○と□□の協力が必要なのだろうか？

（共生）→どうすれば、共に生きていくことができるだろうか？

（影響）→このまま高齢化が進めば、農林水産業はどうなってしまうのだろうか？

※発問の「型」について〔はばブラⅡより〕

- 「どのように・どのような型」・・・事実や方法、特色を追究するとき
- 「なぜ・どうして型」・・・意味や理由を追究するとき
- 「どうすれば・どちら型」・・・構想（選択・判断）するとき